

## 木魚三題

一

その音は圓い　その音は暖かい  
さうしてその音は冴えてゐる  
嗚呼木魚よ

お前は恒に腹を据え　頭を叩かせて

二

あれあのやうに頭を叩かれて  
あのやうに冴えた音が出ようとは  
木魚よ　お前は憎い　お前は羨しい  
私もお前の頭を叩かう　お前の心に學ぶため

三

ポクポクと木魚を叩く  
何事の在しますかは知らぬ  
われかく恒に健やかに養はるるを思ひ  
ポクポクと木魚を叩く

## 掌編

大きく呼吸をする　小さく呼吸をする  
その咽頭のんどを通ふものの暖かさ　幽かさ  
ああ　あの空の色！　あの頬白ほくしろの歌！  
ああ私の中の度しい生命いのちよ